

令和3年度補正予算 UNFPA 案件クネネ州における妊産婦待機施設の訪問 (令和6年4月25日)

2024/04/25

令和6年4月25日、クネネ州に出張した西牧大使はシャングラ保健・社会サービス大臣らとともに、令和3年度補正予算・国連人口基金（UNFPA）案件「誰も取り残さない：ナミビアにおける避難民と新型コロナウイルスの拡大に関連する緊急事態における保健の不足の補填及びジェンダーに基づく暴力への対処」（供与額：462,962米ドル）で支援したカゼトジンディレ・アンジェリカ・ムハルカ妊産婦待機施設を訪問しました。



写真1：一行は、カゼトジンディレ・アンジェリカ・ムハルカ妊産婦待機施設の妊婦が同施設滞在中に使用する食料品を贈呈した。（左より）ブランツオ WHO ナミビア代表代理、アモコンゴ UNFPA ナミビア副代表、シャングラ・ナミビア保健大臣、西牧大使。



写真2：カゼトジンディレ・アンジェリカ・ムハルカ妊産婦待機施設の寝室で、シャンプンバ・クネネ州保健局長からブリーフィングを受ける西牧大使及び一行。



写真3：カゼトジンディレ・アンジェリカ・ムハルカ妊産婦待機施設の裏庭菜園を案内される一行。同菜園では、妊産婦の自立を支援するため、裏庭菜園の基本的な技術が教えられている。